

**令和 6 年度笛吹市社会教育委員の会議兼公民館運営審議会
第 3 回会議 会議録**

日 時：令和 7 年 3 月 19 日（水） 午後 1 時 30 分～午後 3 時

場 所：笛吹市役所市民窓口館 3 階 302・303 会議室

出席者：◇社会教育委員（敬称略）

秋田和博、石田史明、渡邊真史、内田勝也、加々美恭子、
金子津多恵、石倉絹子、小林千澄、中村 弘

◇教育委員会

太田教育部長、角田文化財課長、松本図書館長

◇事務局

荻原生涯学習課長、生涯学習担当 河西リーダー、日下、角田
欠席委員（敬称略）：生原忠昌、須田徹、廣瀬志保、山口隆夫
中楯文仁、原百枝

【進行：生涯学習課長】

次第 1 開会のことば

次第 2 議長兼会長あいさつ

＜議長兼会長＞ 皆様こんにちは。本日は大変お忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。年度末を迎えまして、社会教育委員の会議もこのメンバーでの会議は最後となり、お世話になりました。社会教育委員の皆様には、それぞれの立場で熱心に活動を行い、貴重な意見をいただき本当に感謝しています。本日は、今年度の様々な事業報告と来年度の計画が用意されていると思いますので、今年度の活動をしっかりとまとめ、来年度に向けて気持ちのよいスタートができるように、また笛吹市の社会教育行政が、さらに豊かに、そして前進するように意見をお願いしたいと思います。

次第 3 会議録署名委員の指名について

笛吹市社会教育委員会会議運営規則第 4 条第 2 項に基づき、石倉議長から金子津多恵氏が会議録署名委員に指名された。

次第 4 議事

笛吹市社会教育委員会会議運営規則第 2 条第 2 項及び笛吹市公民館運営審議会規則第 4 条の規定により石倉議長が議事進行を行う。

社会教育委員の会議

(1) 市社会教育事業報告について

生涯学習課、文化財課、図書館から説明後、質疑応答を行い、報告内容について了解いただいた。

【質問意見等】

<委員>

2点ある。1点目は、芦川小学校から児童2名が図書館の見学と、事前に考えてきた質問をインタビューして答えていただいた。事前に質問資料を提出して、パネルに質問とわかりやすい答えを作成していただき、素晴らしい対応だった。その後、実際に本の貸し出しをして帰ってくることができて、子供たちの読書への興味に繋がると思い感謝している。2点目は、石和南小学校で笛吹高校の生徒が、ボランティア活動として、児童にすいれき太鼓の指導をしている話を聞いた。年度末に拝見した時に、子供たちが生き生きと自信を持って太鼓を打って、とても良い発表会であった。高校生が子供たちに直接指導してくれたことが子供たちにとってもすごく力になったというような話を聞いて、積極的に地域に関わっていただきありがたいと思う。来年度も継続して取り組んでもらいたい。

<議長>

社会教育施設の改修工事について、施設の休館をする説明があったが、併設されている図書館も休館となるのか。

<生涯学習担当> 図書館が併設されている八代総合会館と学びの杜みさかは、改修工事期間中は、建物の出入りができないため、八代総合会館は7月、学びの杜みさかは9月から休館となる。

<議長>

休館中の図書館の本を、地元の学校へ貸出しするなどの対応は考えているのか。

<図書館長>

石和図書館など他の図書館と連携を取りながら対応する予定である。

<議長>

承知した。話が変わるが、境川支所の窓口で、図書館本の貸出し予約や本の受取りサービスを行っている聞いたが、利用状況を教えてもらいたい。

<図書館長>

利用状況については、ほとんどが事前に予約した本の受取りの利用で、その本を支所へ返却する流れになっている。回数は、月に多くて10件程度である。

＜議 長＞ 承知した。

＜委 員＞ 図書館では、資料を拝見して様々な行事をたくさん行っているなかで、図書館利用者や行事参加者の集計情報は公表されているのか。

＜図書館館長＞ 公表はしていない。月ごとに、各図書館の集計は取って、図書館協議会に報告している。公表については、検討していく。

＜委 員＞ 市民講座は、日中開催が多いと感じる。夜開催の講座は、人数が集まらないのか。

＜生涯学習担当＞ 夜開催の市民講座は、募集をかけても定員に満たないことがある。講座の回数は少ないが継続して開催していく。

＜議 長＞ 俳句会表彰式について、市内の入賞者の表彰式への参加が少なかったという意見が、昨年の会議であった。今年度は、校長会や教育委員会が表彰式出席の呼びかけを行ったおかげで、入賞した市内の入賞者が全員表彰式に出席したことがよかった。感謝している。

(2)山梨県社会教育委員連絡協議会の報告について

事務局からの説明後、質疑応答を行ったが、質問等がなかったため、報告内容について了解いただいた。

(3)その他について

特になし

公民館運営審議会

(1) 山梨県公民館連絡協議会の報告について

事務局からの説明後、質疑応答を行ったが、質問等がなかったため、報告内容について了解いただいた。

(2)その他について

【質問意見】

＜委 員＞ 各地区の公民館は、年数が経過して建物の老朽化が進んでいる。行政区の活動が縮小し、収入源も減っていくなかで公民館の維持管理が厳しい状況になっているという話を聞く。地域の団体や高齢者が集まって公民館で活動をしているなかで、市が各地区の公民館を全体の管理下で、分館として担う

ことができないのかと言う意見を各行政区から聞いている。市の公民館と各地区の公民館の関係性について、見直しや計画があったら教えてもらいたい。

＜生涯学習課長＞ 現在のところ、見直しなどの具体的な計画はない。各地区の公民館は、行政区で維持管理して、身近な集会施設としてあるべきものだと思うので、意見を聞きながら必要に応じて検討していく。

次第 6 その他

【質問意見】

＜委 員＞

前回の会議で、地元の小学校に一宮町東原の伝統文化の魅力について伝える活動を行ったという話を聞いた後、新聞に八代町の「岡の式三番叟」出前講座が地元の小学校で行われた記事を見て、子ども達が熱心に学んでいたことと伝統文化の継承についての一言があった。伝統文化を次世代の子ども達へ継承していくことが改めて大事だと思った。テレビで、伝統文化の踊りや祭り行事を拝見して、私の知らないこともあって勉強になった。私としては、地元の伝統文化を子ども達にも、知ってもらうための機会として、コミュニティスクールに関係があると思うので、教育委員会として取り組んでもらいたい。

＜文化財課長＞

「岡の式三番叟」は、市指定の無形文化財として補助金を出して活動を行っている。他にも神楽などの伝統文化の活動支援を行っている。伝統文化を広く知ってもらうための活動をしていくことの認識でよろしいか。

＜委 員＞

活動だけでなく、地域の人たちと子ども達の関わりを含めたコミュニティスクールを活用して、次世代に繋いでいくことをしていかないと、伝統文化の素晴らしさが子ども達に伝わらないような感じがする。教育委員会が主体となって、各地区で伝統文化を後世に残す思いで、少しずつ取り組んでもらいたいと思う。

＜文化財課長＞

地域との関わり持ちながら活動している団体から、子ども達に教えても活動に加わってくれないという話を聞いている。伝統文化を引継ぐことについて課題は認識しているので、協力できることは相談しながら進めていきたいと思っている。

＜生涯学習課長＞ コミュニティスクールは、学校と地域住民や保護者などが

連携して学校運営に取り組む仕組みになっている。子ども達により良い環境で、地域の伝統文化を、教え伝えたりしていくことが大事な取り組みだと思う。コミュニティスクールは、学校教育課が担当部署であるので、意見があったことを伝えておく。

次第 7 閉会のことば